

書類

取扱  
定扱

0340

昭和二年七月十三日起案

起案者  
捺印

戸塚

昭和二年七月拾日

後藤

發付後起  
案者捺印

主務局、部  
報告者捺印

(奉) 軍務局長 第一課長

大臣 次官

副官  
書記官

戸塚

昭和二年七月十日 次官

陸軍次官宛

解隊戦技見學ノ件

陸軍第三〇三七號 御照會ノ件 差支無之候

番號

官房 二〇〇三

毎

毎

局、部	受月日	發月日	官房	軍務	人事	教育	軍需	醫務	經理	建築	法務	艦政	軍令
			戸塚										

大 2.7.10

中

右回答ス

進テ本件詳細、閣下ニテ、聯合艇隊司令部、指示ヲ受ケル儀トシ承知お申度

(おれ、觀覽可証一上葉係)

(終)

2680

官房第三〇二號

海軍省副官

軍務局長

第一課長

局長

松山

昭和貳年七月拾四日發布濟

昭和二年七月十日 省副官

聯合形跡副官宛

戦技見字ノ件

本件、関ノ別紙甲号ノ照会ニ対シ合シ号ノ通  
回答有知ハ条便宜供与方ヲ知シ以取計有来度  
右面ニ知ス

(別紙ニ業添)

(3)

海軍

機造中葉十三行紙

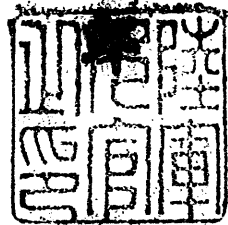
陸普第三〇三七號

艦隊艦砲射撃見學ノ件照會

昭和貳年七月拾貳日

陸軍次官 畑 英太

海軍次官 大角岑生 殿



軍務局

左記ノ者ヲシテ來ル七月二十九日ヨリ八月五日迄ノ間九州近海ニ於テ實施セラルヘキ艦隊艦砲射撃見學致サセ度ニ付便宜供與相成度尙

右ハ砲術學校教官ノ乘艦ニ便乗セシメラルル様取計ヒ相成度

左記

陸軍重砲兵學校附 陸軍砲兵大尉 竹本 節

0343

官房第三〇三七號

陸軍

0344



軍務局第一課

海軍省副官

軍第 60 號

觀覽許可控

氏名 官職身分  
外国人ナルトキハ  
國籍共以下做之

株式會社ヤマトメタル商會  
社員初松之助  
代表者小池義一

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事項軍艦及横須賀  
指定觀覽區分 第四類  
海軍工廠

有効期間 自昭和二年七月十七日  
至昭和二年七月十七日ノ内 日

昭和二年七月十五日

0345

第 59 號

觀覽許可控

氏名

官職身分  
外國人ナルトキハ  
國籍共以下依之

陸軍重砲兵学校附  
陸軍砲兵大尉竹本節

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事項

聯合艦隊  
戰鬪射撃

指定觀覽區分 第 / 類

有効期間

自昭和二年七月二十九日  
至昭和二年八月五日

ノ内 日

昭和二年 七月 十四日

# 軍艦造工廠見學許可願

今般特許軍艦造工廠見學条件を供出  
法許可相成度此段より願候也

人員 約拾五名

時日 昭和七年七月拾七日午後五時

昭和七年七月拾四日



東京市京橋區三ノ間堀三丁目九番地

株式ヤマトメタル商會

電話九二六〇三三番

代表者 小池義一郎



0347

海軍省軍務部  
御中



0348

海軍省副官

軍防局第一課

軍第 61 號

觀覽許可控

氏名 官職身分  
外國人ナレトモ  
國籍共以下做之

茨城縣立水海道中學校  
卒業生 佐々木 隆  
引辛 青石 久司

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事類  
指定觀覽區分 第四類  
船橋 通信所

有効期間 自昭和二年  
至昭和二年 七月 二日 日ノ内 日

昭和二年七月十五日

0349

軍第 62 號

觀覽許可控

氏名

官職身分  
外國人ナルトハ  
國籍共以下儼之

茨城縣之水海道中津校  
第五少年生徒松田名  
引幸有石塚謙三

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事項

指定觀覽區分 第四類

舟橋送信所

有効期間

自昭和二年  
至昭和三年

七月二十五日

ノ内 日

昭和二年七月十五日

0350

軍第 63 號

觀覽許可控

氏名 官職身分  
外國人ナルトキハ  
國籍共以下做之

茨城縣之水海道中津子校  
第五姓少年生徒五名

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事

引上幸有野口心晴  
船橋送信所

指定觀覽區分 第四類

有効期間

自昭和二年七月二十九日  
至昭和二年七月二十九日ノ内 日

昭和二年七月十五日

第一課

左記

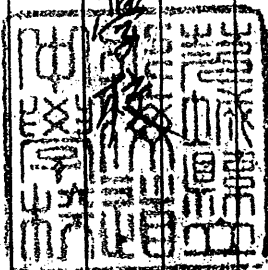
海軍省副官殿

拝啓今般本校生徒左記ノ通り千葉縣船橋東京海軍無線電信所船橋送信所ヲ見學ヲ許可得度候間許可証市下付相成度及市願至也

昭和二年七月十三日

茨城縣結城郡

縣立水海道中學校



見學予定日	生徒人員	学年	引率者氏名
七月二十日	二十二名	五	石塚久司
七月二十五日	二十二名	五	石塚謙三
七月二十九日	五名	五	野口正晴

許可証ハ引率者各人ハ別々ニ市下附願矣

茨城縣立水海道中學校

宮田

七十五

0352

軍務局第一課

海軍省副官

軍第 64 號

觀覽許可控

氏名 (官職身分) 陸軍砲兵大尉 山田清之  
(外國人ナルトキハ) 今  
(國籍共以下做之)

細川忠康

觀覽許可ノ場所、物件又ハ事項

吳海軍工廠

(砲台)

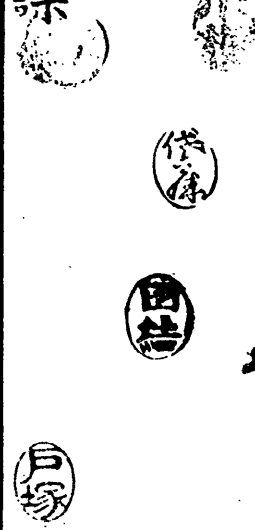
指定觀覽區分 第 2 類

有効期間

(自昭和二年七月二十二日)  
(至昭和二年七月二十二日)

ノ内迄日

昭和二年七月十九日



軍務系 第一課

軍事發第一三號

將校見學ノ件

昭和貳年七月拾五日

陸軍省軍務

海軍省軍務局中

左記ノ者ヲシテ未ルニ十二三項吳海軍  
工廠(主トシテ砲噴部)見學致サセ度許  
可方取計ハレ度左照会ス

左記

陸軍砲兵大尉 山田清一

細川忠康

陸軍



書類

取扱  
指定

0354

昭和二年 七月十三日 起案  
起案者 捺印 戸塚  
昭和貳年七月拾五号 發着 謝野

(主務) 第一課長

大臣 閣下 官 公 署

副官 書記官

局員 戸塚

昭和二年七月十五日 次官

陸軍次官宛

支那國陸軍將校候補生

軍艦工廠等の見学件

番号

軍令	艦政	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	人事	軍務	官房	局、部
										七月十五	受月日
											發月日

主務局、部  
取扱者捺印  
發付後起  
案者捺印

大 27.15

海軍省

陸軍省第三〇六七號ヲ以テ御照令ノ本件差支  
無之候

右圓答ス

( )

官房第二三九八號

昭和貳年七月拾五日發布濟

昭和二年七月十五日

海軍省副官

横鏑副官宛

支那國陸軍將校候補生

軍艦工廠等見送ノ件

本件ニ関シ別紙甲附照令ニ対シ今乙附ノ通函  
答相成候條御了知ノ上可然御取計相成度  
右通牒ス

(別紙ニ兼テ送)

( )





圖書

〇六七號

支那國陸軍將校候補生ニ軍艦、工廠等見學ノ件照會

昭和貳年七月拾參日陸軍次官 畑 英太

海軍次官 大角岑生殿

第一課



艦政本部

軍務局

0350

陸軍士官學校在學支那國陸軍將校候補生八名、教官月野木少佐外一名及下士一名附添ノ上左記豫定ヲ以テ軍艦、海軍工廠及追濱航空隊ヲ見學セシメ度

追テ異存無之ハ細部ニ關シテハ陸軍士官學校ヨリ直接關係ノ向ヘ協議致様取計度

第...

納見

田

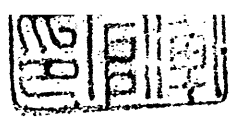
六十三

0350

本件



七十三



佐外一

航空隊

ノ向へ

4980

本件ハ電話ニテ内議済ノモノナリ

左記

七月十三日

午前

軍

艦

(横須賀)

午後

海軍工廠

(同 右)

七月十四日

追濱航空隊

附頁

軍務局長  
海軍省副官

十核

局員

秋山

昭和二年七月 日

軍務局長

西野要參謀長宛

電報

貴第二六一号ニ多摩艦砲射撃見込ノ件ハ海軍觀覽規程ハ八条乙ニ拠リ貴方限リ処理可也  
モト解散ス

次

昭和二年七月三十分

公印

海軍

海軍省副官

横道半葉十三行野紙

至急

軍務局

0980

舞鶴要港部第一號ノ二

大正二年七月十六日

舞鶴要港部司令官

海軍大臣 殿

第一課

多摩艦砲射撃見學件

左記者、計、舞鶴要港司令官細田初一ヨリ來二十一日實施、  
多摩艦砲(教練)射撃見學願出スルニ付許可致度  
候條御認許 奏度

右 上 申 下 記

舞鶴要港副官 陸軍砲兵大尉 赤水周陸

(紙)

西村納



海

軍務局  
一七十九

七月  
本件  
併

官房受



七十九



日實施

致度

陸

村納

七月十六日

舞鶴要港部副官



海軍省副官殿

本件電報指令支取  
シ取計  
シ度

0361